

八八歩入之事

定納百石之内  
 五石 八月分  
 七石 九月分  
 四拾石 十月分  
 三拾石 十一月分  
 拾八石 十二月分

右元文五年田井喜兵衛・村井與三右衛門より書出候由也。  
 追而猶更相尋可書記。

八九能州内外浦間所之事

覺

太間組鵜之浦村之内

吉之 間  
 野崎 村  
 鰻目 村  
 七尾 村

小舟間 田鶴濱  
 大津村  
 熊木村  
 中居村  
 乙ヶ崎村  
 甲波村  
 前波村  
 小舟間 鵜川村  
 波並村  
 小舟間 字出津村  
 眞脇村  
 小舟間 小木村  
 立壁村  
 布浦村  
 小舟間 戀路村  
 小舟間 鵜飼村  
 飯田村  
 蛸嶋村

外浦之分  
 伏見村  
 寺家村  
 分煙村  
 狼戸村  
 折屋村  
 高屋村  
 馬縹村  
 時國村  
 小舟間 小田屋村  
 輪嶋村  
 光浦村  
 小舟間 鶺入村  
 大澤村  
 五十洲村  
 鹿磯村  
 赤神村  
 小舟間 腰細村  
 風無村

風無村領  
 松ヶ下  
 福浦村  
 赤住村  
 領 領  
 土方 阿部屋村

九〇越中濃境山廻之事

一、新川御郡奉行より、毎年信州境山廻り役人爲廻申候。  
 當年もさらく越爲廻候所、信州者黒部川之上に小屋を  
 懸、魚を釣申候に付、其段窺候所、來年は例年より早く相  
 廻し、小屋有之候はゞ取拂候様に可申付旨被仰出候由。元  
 祿三年之事之由、覺書に有之寫置。

九一御算用場に而誓紙仕

者之事

一、出船御用下裁許與力・陸廻與力。  
 一、御召米奉行與力御代官。